第75回

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ

ゲーテの会

「新しい文明」の萌芽を探る

日本と世界の歴史の転換点で、転轍機を動かした「先覚者」の事跡をたどる

政治・経済

日本で最初の国際的歴史学者「朝河貫一」

-「胡適」との対比を中心に-

［講　師］

武藤 秀太郎　新潟大学経済学部准教授

1974年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程修了。2008~2011年中国政府奨学金留学生として、復旦大学に留学。新潟大学准教授。学術博士。専門は社会思想史。
著書に『近代日本の社会科学と東アジア』（藤原書店、2009年）、『「抗日」中国の起源－五四運動と日本』などがある。

［講演要旨］

朝河貫一（1873-1948）は、日本人ではじめてアメリカ・イェール大学の教授となった歴史学者である。当時としては斬新な国際的視点から、日本とヨーロッパにおける封建制度の比較研究に身を投じた。とくに、薩摩の入来院家にまつわる古文書を編集し、英訳した『入来文書』（1929）は、『封建社会』でしられるフランスの歴史学者マルク・ブロックからも、ヨーロッパ人が日本の封建制を理解するための貴重な資料として高い評価をうけている。朝河は元来、政治に関与することに禁欲的であったが、祖国である日本の危機的状況に際し、国内に向け自省をうながす主張をおこなうとともに、対外的に自国の立場を擁護する言論も展開した。近年、朝河の言動は再評価がなされ、資料的な整備もすすんでいる。本報告では、この朝河の思想と行動を、同じく国際的・知米派知識人であった中国人の胡適（1891-1962）との交流を中心にみてゆくことにしたい。

［参考図書］

ご講演の内容の理解を促進するために次の図書が有益です。
朝河貫一『日本の禍機』講談社学術文庫、1987年

どなたでもご参加いただけます。ぜひ、お誘いあわせの上ご参加ください。

日　時　2019年10月16日（水）　18:00～20:30

会　場　国際高等研究所コミュニティホール
〒619-0225　京都府木津川市木津川台9丁目3番地

参加費　2,000円（交流・懇談会費用を含む）

定　員　40名（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申し込み　ホームページからお申し込み下さい
https://www.iias.or.jp/communication/goethe

締　切　2019年10月15日（火）

けいはんな「ゲーテの会」とは…

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。
研究所の庭園にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は国際高等研究所で、人類の未来と幸福、そしてけいはんな学研都市について考えてみませんか。

お問い合わせ
ゲーテの会事務局
Tel : 0774-73-4000　e-mail : goethe0828@iias.or.jp
主催：公益財団法人国際高等研究所

けいはんなから 未来を創る オータムフェア 2019 Keihanna Autumn Fair

公益財団法人 国際高等研究所